

# 新型コロナウイルス対応版チェックリスト <チーム・指導者用>

シーン	項目	チェック欄	備考
1 事前準備	(1) チーム内において感染対策責任者を定め、所属する連盟担当者の連絡先を把握する。		
	(2) 活動する上での注意事項に関わる全ての方と共有し理解してもらう。(不安がある場合は参加を見送る)		
	(3) チーム内の選手・スタッフの健康管理表(健康チェックリスト)を入手し、活動日まで健康チェックを行う。		
	(4) 試合会場には25人以上にならないように調整する。		
	(5) 選手の保護者が活動内容を理解しており、参加を了承している。(了承しない場合は無理に参加させない。)		
2 往復の移動	(1) マスクを着用する。		
	(2) 往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。		
	(3) 窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。		
	(4) 切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。		
	(5) 電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話を控える。		
	(6) 目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。		
	(7) 寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。		
3 準備運動・試合前	(1) 選手・指導者・スタッフはプレー時以外はマスクを着用する。		
	(2) 選手・指導者・スタッフは健康チェックシートをチームの活動日毎に感染対策責任者に提出する。		
	(3) 着替えが伴う場合は素早く済ませ、更衣室から早く出る。		
	(4) 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。		
	(5) メンバー表の交換は監督または主将一人で行う。またその際にも握手や接触を避けるよう心掛ける。		
	(6) 試合前の整列は行わない。		
	(7) 握手やハイタッチ等は行わない。		
	(8) 円陣は行わない。		
	(9) 試合前・試合後のミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。		
4 試合中	<b>試合中のコミュニケーション、給水等</b>		
	(1) 指導者・救護員、ベンチに座る選手はマスクを着用する。		
	(2) プレー以外の不要な接触を避ける(ホームイン後の喜び、交代時のタッチ等)。		
	(3) グラウンド上でチームメイト、審判と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。		
	(4) ベンチ内では選手間の距離を保ち、大声を出さない。		
	(5) 飲料を他の選手と共有しない。		
	(6) タオル等、リネンを他の選手と共有しない。		
	(7) グラウンド内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。		
	(8) 球審に渡すチェンジボールは水で洗って消毒して、箱等に入れて渡す。		
	(9) バッター用ヘルメット、キャッチャー用マスク・ヘルメットなどのチーム共用物は使用後、都度消毒する		
	<b>攻守交代時、試合終了時の対応</b>		
	(1) グラウンドを出た後は消毒や手洗い、うがいをする。		
	(2) 指導者により選手交代の申し出の際、審判との距離を十分に配慮する。		
	(3) 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。		
	(4) ベンチ内の救護員はなるべくナイロン・ゴム等の手袋を活用する。		
(5) 試合後のチーム整列、審判・大会主催者・相手チームベンチへの挨拶は行わない。			
5 試合終了後	(1) 更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。		
	(2) 着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。		
	(3) シャワーの利用についてはローテーションを組んで交代で浴びる等の工夫をする。		
	(4) 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。		
6 帰宅後の過ごし方 ※平素より心掛ける事項	(1) 手洗いうがいを徹底する。		
	(2) バランスの良い食事をとる。		
	(3) 検温と共に行動記録を書く。		
	(4) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。		
7 事後対応	(1) 帰宅後3日以内にチームの中から感染者が出た場合は、所属する連盟担当者に速やかに連絡をする。		

チーム感染対策責任者： \_\_\_\_\_

※このリストをもとに各チーム・指導者が地域の実情に応じてカスタマイズする。